

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

■科目基本情報

科目名	C言語	科目コード	0600
シラバスコード	192B41-0600		
授業時数/週	3時間		
開講年次・学期	1年・通期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	森本 哲郎		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

■科目詳細情報

授業概要	C言語を使ってパソコン上で動作するプログラムを作成する為の基礎知識の学習と実際にパソコン上で動作するプログラミング実習を通して、プログラミング技術の修得
到達目標（前期）	・ データ型と変数、演算子、制御構文などの基礎知識を習得すること。 ・ 簡単なプログラムの作成が行えること。
到達目標（後期）	・ 配列、関数、構造体、ポインタなどの使い方を習得すること。 ・ プログラムを作成するための実践的な知識と技術を習得すること。
授業方法	基本的に授業の前半は講義、後半は実習・演習を行う。
実践的教育の内容	ソフトウェア開発の実務経験を持つ教員が、C言語の基礎から応用までを取り入れた授業を行う。後期では、仕様書を題材とした実践的なプログラム作成の実習を行う。
評価方法（前期）	定期試験(筆記試験)70%、提出課題30%
評価方法（後期）	定期試験(筆記試験)70%、提出課題30%
授業外における学修	特になし
授業計画（前期）	第1週 ガイダンス 授業概要、導入
	第2週 Linuxコマンド プログラムを作成するために必要となるLinuxコマンド
	第3週 基礎文法 C言語の基礎文法
	第4週 データ型と変数 基本的なデータ型と変数
	第5週 式と演算子 四則演算子や代入演算子
	第6週 標準入出力・・・(1) printfやscanfなどの標準入出力関数
	第7週 標準入出力・・・(2) printfやscanfなどの標準入出力関数
	第8週 制御文・・・(1) if文、switch文などの条件分岐
	第9週 制御文・・・(2) if文、switch文などの条件分岐
	第10週 制御文・・・(3) for文、while文などの繰り返し処理
	第11週 制御文・・・(4) for文、while文などの繰り返し処理
	第12週 文字列と配列・・・(1) 文字列と配列の使い方
	第13週 文字列と配列・・・(2) 文字列と配列の使い方
	第14週 関数・・・(1) 関数の宣言、定義、呼び出し
	第15週 関数・・・(2) 関数の宣言、定義、呼び出し
	第16週 標準ライブラリ math.hやctype.h、stdlib.hなどの標準ライブラリ関数
	第17週 まとめ 授業内容のまとめ

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	前期の復習 前期の復習と後期の導入
	第19週	アドレスとポインタ・・・(1) アドレス操作やポインタの使い方
	第20週	アドレスとポインタ・・・(2) アドレス操作やポインタの使い方
	第21週	文字列と配列の応用・・・(1) アドレスやポインタを用いた文字列や配列の操作
	第22週	文字列と配列の応用・・・(2) アドレスやポインタを用いた文字列や配列の操作
	第23週	構造体と共用体・・・(1) 構造体と共用体の定義や使い方
	第24週	構造体と共用体・・・(2) 構造体と共用体の定義や使い方
	第25週	ファイル入出力・・・(1) テキストファイルの作成や保存などのファイル操作
	第26週	ファイル入出力・・・(2) テキストファイルの作成や保存などのファイル操作
	第27週	実習・・・(1) 実践的なプログラムの作成
	第28週	実習・・・(2) 実践的なプログラムの作成
	第29週	実習・・・(3) 実践的なプログラムの作成
	第30週	実習・・・(4) 実践的なプログラムの作成
	第31週	実習・・・(5) 実践的なプログラムの作成
	第32週	実習・・・(6) 実践的なプログラムの作成
	第33週	実習・・・(7) 実践的なプログラムの作成
	第34週	まとめ 授業内容のまとめ
教科書・教材	「猫でもわかるC言語プログラミング 第3版」SBクリエイティブ：ISBN：978-4-7973-7278-6	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	特になし	